



ゴーヤ栽培中は、1日1～2回の水やりが必要のため、当施設の定休日である土・日・祝日も交代で出て来て世話をした。肥料は最初のうちは希釈した液肥を施していたが、梅雨の雨続きですぐに流れ出てしまうため、途中から施肥効果を考え粒状の化成肥料に切り替えた。

最も手を掛けたことは、最終的にきれいな緑のカーテンに仕上がるように、早期に摘心を行い蔓の数を増やし、成長してくる子・孫蔓を均等に広げ上部に誘引したこと。

